



# untitled

<http://www.kana-pie.com>

「untitled」 肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

## 神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

### contents

神奈川県社会福祉法人経営青年会 新会長あいさつ	・・・・・・	1・2面
新役員の紹介	・・・・・・	2・3面
活動報告 — 平成25年度第1回総会・研修会 —	・・・・・・	3・4面
お知らせ — 今後の予定・新入会員紹介・会員数 —	・・・・・・	4面

## 神奈川県社会福祉法人経営青年会 新会長あいさつ

本年4月、本会は役員の変更を行いました。また、全国組織の名称変更に合わせて、6月に神奈川県社会福祉法人経営青年会と名称変更いたしました。新たな体制、新たな名称で迎えた本会のこれからについて、西山宏二郎新会長に就任にあたっての意気込みを寄稿いただきました。今まで以上に経営力が求められる時代に、西山会長は、①経営者部会との連携、②会員拡大、③かながわライフサポート事業の普及・啓発及び着実な推進、という目標を掲げます。

今期より、神奈川県社会福祉法人経営青年会の会長をつとめさせていただいております西山です。本県の会長として、4月から様々な会合等に出席させていただいておりますが、その数の多さと重責に日々身が引き締まる思いです。みなさまの力を借りて頑張っていきたいと思っております。

さて、本会は遅ればせながら6月の総会において、従来の神奈川県社会福祉青年経営者会から神奈川県社会福祉法人経営青年会に名称変更いたしました。これは、単に名称変更にとどまることなく、より法人というものを前面に出し、今まで以上に経営力を発揮していくことを求められる時代となったことを象徴しています。私たち経営青年会としても、「時代を読み、先取りし、そして行動する」組織でありたいと思っております。青年は青年らしく、柔軟なスタンスで、想像力と創造力を発揮し臆することなく、まず動く。そんな会にしていきたいと思っております。

そのために、私は次の3つの目標を掲げていきたいと考えます。ひとつは、親会である経営者部会との連携です。経営者部会には、県内500余りの法人が会員となっています。これは大きなエネルギーとポテンシャルを持った組織と言えます。いま、社会福祉法人が置かれている立場は、福祉分野の域を超え、成長産業としての期待や雇用の創出など経済的レベルでの議論もあり、また公益法人としてのあり方などは、様々な政府レベルの会議でも議論されていることは周知の事実です。今まさに、経営者部会が長年、積み重ねてきた社会福祉法人創設時の原点から、これまでの歩みに尊敬の念を抱きながら、その先輩方の礎のもとに、青年の行動力をプラスして「新しい社会福祉法人の経営の形」を考えていきたいと思っております。親会と一緒に、社会福祉法人の存在価値を高め、市民に向けてメッセージを送っていききたいと思っております。

ふたつめは、本会の土台となる会員拡大に力を注いでいくことです。私たち経営に携わる者たちは、得て



西山宏二郎新会長（藤嶺会）



総会で挨拶する西山新会長

は大きい方が良いと思いますので、ぜひ「会員数100人！」を目指していきたいと思ひます。

3つめは、かながわライフサポート事業の普及・啓発、そして、着実な推進です。本事業は、準備の段階から多くの本会OBおよび現会員がメンバーとなり、議論を進めてきました。従来の社会福祉事業に加え、それぞれの地域において生活に困窮されている方々に対して、総合的な相談支援を中心として、制度へのつなぎや、場合によっては現物給付による生活支援を行っていく事業です。本事業に参加する法人にとっては、財源及び人員という二つの手立てを組織内で行っていくこととなり、まだ多くの参加を得られるまでには至っていません。しかしながら、私たち社会福祉法人が地域に存在し、そして、市民の方々から頼りにされる存在であるために、本事業に本会として積極的に協力していくことは、とても意義のあることだと思ひます。今後は、実際の活動実践なども挙がってくることとなります。そのような機会を通して、ぜひ本事業への参加をご検討ください。

今期も会員のみならずとともに、3つの目標を中心に頑張っていきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。

## 新 役 員 の 紹 介



副会長（研修担当）

田代 鉄也 （喜寿福祉会）



副会長（研修担当）

甘利 悟 （誠々会）



副会長（総務広報担当）

高橋 輝彦 （照陽会）



副会長（総務広報担当）

真壁 洋道 （真幸会）



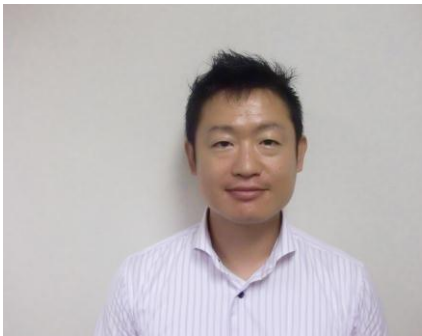
監 事

原田 忠洋 （清琉会）



監 事

関水 貴浩 （福慶会）



幹事（研修委員長）  
栗田 義晃（栗山会）



幹事（総務広報委員長）  
福原 高洋（福寿会）



幹事（高齢研究委員長）  
押川 哲也（地域福祉協会）



幹事（保育研究委員長）  
渡辺 高幸（松が丘保育園）



幹事（障害研究委員長）  
武藤 祐生（愛の森）



幹事（会計）  
水島 圭一（つちや社会福祉会）

## 活 動 報 告

### 平成 25 年度第 1 回総会

平成 25 年 6 月 20 日（木）13 時からホテルキャメロットジャパンにて、平成 25 年度第 1 回総会が開催され、次の議案が提案されました。

- 第 1 号議案 平成 24 年度事業報告（案）について
- 第 2 号議案 平成 24 年度収支決算報告（案）について
- 第 3 号議案 運営要綱の一部改正について
- 第 4 号議案 役員選出規程の一部改正について
- 第 5 号議案 その他

審議の結果、すべての議案が承認されました。



総会風景



会長から感謝状を受け取る小倉様

議事終了後、平成 24 年度をもって卒会された方への感謝状の贈呈を行いました。対象者は次の方たちです。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 浦野直子 様（中心会）  | 小倉 徹 様（松緑会） |
| 小野寺明子様（すぎな会） | 佐竹昇平 様（聖音会） |
| 餅田 明 様（中心会）  | 渡部俊賢 様（和順会） |

卒会された皆様、長い間、会の発展のためご尽力いただきありがとうございました。皆様の今後のご活躍と所属法人の発展をお祈りいたします。

最後に新入会員の紹介を行い、14 時に総会を終了しました。

## 総会研修

総会に引き続き、15時30分から神奈川県社会福祉協議会経営者部会と合同の研修会を行い、戦場カメラマンとして有名な渡部陽一氏（国際ジャーナリスト）を講師にお招きし、独特の語り口と大きな身振りでお話をいただきました。

テーマは「世界からのメッセージ～人間愛と絆～」。戦場カメラマンになるきっかけは大学時代に先生から聞いたピグミー族に会いに行った際に、戦争のために泣く多くの子供たちを目にしたことで、そういう子供を少しでも減らそうと考えた手段がカメラマンとして戦場の子供たちの声を届けることでした。本研修でも劣化ウラン弾による腫瘍で苦しむ子供をはじめ、衝撃的な写真を多く見せていただきました。驚くことに1500km（横浜～沖縄くらい）離れた海上からボタンを押すだけで、このような爆撃が行われるそうです。



講演する渡部氏

なぜ世界で戦争が起こるのか。石油利権の争い・宗教対立・民族問題などきっかけは様々で、最後に行きつくのが家族を守るための戦い。戦争を止めるには第三国の介入が必要とも説明されました。

最近従軍カメラマンとして行ったアフガニスタンでは戦争マシーンを最前線に投入し、TVゲームのようなコントローラーでロボットを操り、爆撃処理していたそうです。映画ターミネーターやロボコップの世界が現実になっています。

別の話題として、生きた英語を短期間で身に付けるには好きな映画のスクリーンプレイを利用した勉強方法が有効ともご教授いただきました。

日本の特徴は島国であり世界から見ると恵まれた環境。どのようにすれば世界と繋がるのか。相手に興味を持ち、時間が許す限り意見をぶつけてみる。どんなに時間がかかっても世界と繋がっていく、それが大切と説かれました。

## お知らせ

### 今後の予定

本年度予定されている研修会や大会です。詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください。

開催日	場所等	テーマ等
平成25年10月24～25日	福島県	東北地方視察研修
平成25年11月18～19日	富山県	第17回社会福祉法人経営青年会全国大会
平成26年2月6～7日	群馬県	関東甲信越静岡ブロック大会
平成26年2月14日	神奈川県社会福祉会館	保育研究委員会研修会

### 新入会員紹介

新たに入会された会員をご紹介します。

清谷公紀 様（中心会）                      二ノ宮信介 様（多心会）  
大塚小百合 様（蓬萊会）                      西 啓三 様（奉優会）                      鈴木太郎 様（誠幸会）

### 会員状況

会員数 80名      法人数 63法人      （平成25年8月末日現在）

### 編集後記

自分が本会に入会して5年が経過しました。この5年間、他業種から飛び込んできた右も左もわからない私に、大変心強い新たな仲間がたくさんできました。本会にはいくら感謝しても足りないと思っています。そんな中、役員を仰せつかりました。今までお世話になった分、少しでも恩返しができるかと思っています。至らない部分が多々あると思いますが、ご指導の程、よろしく願いいたします。                      (high-ocean)

発行／神奈川県社会福祉法人経営青年会

連絡先／〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

（福）神奈川県社会福祉協議会

福祉サービス推進部ライフサポート担当

電話：045-311-8753

Fax：045-313-0737